



EBAタイムス

12月 第29号

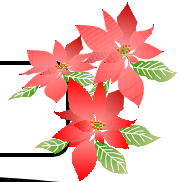
広島市立江波小学校 学校だより



URL <http://www.eba-e.edu.city.hiroshima.jp/>

学校教育目標

自ら学び 自ら考え 豊かな心を持って
個性豊かに生活を創造する子どもの育成



合奏を聴く会・6年音楽発表会



12月13日(火)2時間目に、6年生の合奏を聴く会、5・6時間目に保護者の方々を招待してのミラクルコンサートが開かれました。この日のために7月から約半年も練習を重ねてきた6年生。全校児童の前での演奏は初めてでしたが、どのクラスも自信に溢れ、素晴らしい演奏でした。演目は演奏順に2組「山本リンドメドレー」、1組「ミッション・イン・ポッシブル〜じょいふる」3組「木星」でした。合奏を聴

く会で低学年の子どもたちは、6年生の演奏の迫りにビックリ！演奏後の感想で「かっこいい〜」「すごかったね〜」の声が上がり、6年生へのあこがれの気持ちも高まりました。中学年は6年生の演奏の技術の高さに感心し、自分ならあの楽器を演奏してみたいとイメージをふくらませていました。また、5年生は来年の自分たちの演奏する姿と重ね合わせているようで、どの学年よりも真剣に聴き入っていました。

楽器で音を合わせ心を合わせ曲を創り上げていく過程。そして発表の時の緊張感と達成感。最高学年である6年生が一生懸命演奏する姿を、全校児童が観て聴く機会。これらの素晴らしい体験を通して、子どもたちの心が豊かに育ってくれることを願っています。5・6時間目のミラクルコンサートでは、それぞれのクラスの合奏曲に加えて、学年全員での合唱「COSMOS」、先生たちのアンサンブル「北の国からメドレー」など楽しいプログラムが進行されました。卒業まで、残り3ヶ月となってきた6年生。合奏を聴く会とミラクルコンサートは、小学校生活のよき思い出として、また成長の証としていつまでも心に残ることでしょう。



6年2組



6年1組



6年3組



学年合唱



江波中学校区特別支援学級 交流会

12月14日(水)午前中に江波中学校区特別支援学級交流会が神崎小学校で行われました。この会を通して江波中学校区の特別支援学級の生徒・児童の交流を図るとともに、校外学習を通して安全な移動の仕方を学ぶことが目的です。神崎小学校に30人の生徒・児童と15人の先生たちが集まり、交流会が始まりました。はじめのことはに続き、みんなで歌おう(ジングルベル・あわてんぼうのサンタクロース)、学校紹介、名刺交換、ゲーム(猛獣狩りに行こうよ)、茶話会(各校から持ち寄った手作りお菓子)、ゲーム(じゃんけん列車)、和太鼓演奏(江波中学校)、みんなで踊ろう(マルマルモリモリ)と楽しいプログラムは進んでいきました。会場ではたくさんのはじけるような笑顔が見られました。途中でサンタさんも登場し、交流の輪を広げ盛り上がった交流会は、終わりのことばで締めくくられました。神崎小学校からの帰りは、徒歩で江波小学校に帰ってきたひまわり学級の子どもたち。体力もアップの一日でした。



門松づくり

12月15日(木)地域の「地球環境を考える会」の方々と6年生で、毎年恒例の門松づくりが行われました。実際に江波山から切り出してきた立派な孟宗竹を立て、土を入れて葉ボタン・松などで飾りをしていきました。今年は、冷え込みが厳しく雪がちらついていた昨年とは違い、とても穏やかな天候の中での作業でした。江波小学校の正面玄関に新しい年を迎える立派な門松が完成しました。「地球環境を考える会」の皆様ありがとうございました。来年の江波小学校も、よい年を迎えられそうです。

